

**令和4年度対中央アジア5か国無償資金協力
「第二次中央アジアにおける暴力的過激主義防止のための
コミュニティ強靱化及び域内協力促進計画(UNDP 連携)」
に関する書簡の交換**

12月13日、山田大使は当地 UNDP 事務所にて開催された、供与額5億8,400万円の無償資金協力「第二次中央アジアにおける暴力的過激主義防止計画(UNDP 連携)」の署名式典に出席し、スフロブ・ホジマートフ UNDP カザフスタン常駐臨時代表代理(Mr. Sukhrob KHOJIMATOV, UNDP Resident Representative a. i. in the Republic of Kazakhstan)との間で右計画に関する書簡の交換を行いました。

1 中央アジアは、アフガニスタンと長い国境を接し、暴力的過激主義の影響を受けやすい地政学的リスクを有しています。中央アジア地域からは5,000人以上のテロ戦闘員がシリア、イラクに渡航しており、域内外で中央アジア出身の青年層によるテロが多発しています。コロナ禍の拡大及びウクライナ情勢の長期化により、中央アジア地域では物価の高騰や雇用状況等の悪化が見られ、脆弱な状況に置かれた中央アジアの青年層が暴力的過激主義に引き込まれないようにするための対策の必要性が一層高まっています。

2 この計画は、中央アジアのウズベキスタン、カザフスタン、キルギス、タジキスタン及びトルクメニスタンに対し、暴力的過激主義防止に関する中央・地方政府の能力向上支援、青年層に対する技能訓練、就労支援及び社会参加促進支援等を行うものです。

3 この協力により、中央アジア5か国の青年への暴力的過激主義の浸透の予防を通じた社会の安定化及び治安対策強化を図り、もって中央アジア地域の安定及び社会・経済発展に寄与することが期待されます。

